

別記様式第 1

消防用設備等（特殊消防用設備等）点検結果報告書		
〇〇年 〇〇月 〇〇日		
新見市消防本部 消防長 殿		
届 出 者		
住 所 〇〇市〇〇町〇〇〇－〇〇		
氏 名 消防太郎		
電話番号 〇〇〇〇－〇〇－〇〇〇〇		
下記のとおり消防用設備等（特殊消防用設備等）の点検を実施したので、消防法第17条の3の3の規定に基づき報告します。		
記		
防 火 対 象 物	所 在 地	〇〇市〇〇町〇〇〇－〇〇
	名 称	〇〇〇飯店
	用 途	飲食店
	規 模	地上 〇 階 地下 〇 階 延べ面積 〇〇〇 m ²
消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類等	消火器	
※受 付 欄		※経 過 欄
		※備 考

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消防設備士又は消防設備点検資格者が点検を実施した場合は、点検を実施した全ての者の情報を別記様式第3に記入し、添付すること。

3 消防用設備等又は特殊消防用設備等ごとの点検票を添付すること。

4 ※印欄は、記入しないこと。

消 火 器 具 点 検 票											
名 称	〇〇〇飯店						防 火 管 理 者				
所 在	〇〇市〇〇町〇〇〇-〇〇						立 会 者	消防太郎			
点検種別	機 器 点 検		点検年月日		〇〇年〇〇月〇〇日～ 〇〇年〇〇月〇〇日						
点 検 者	氏名		点 検 者 所 属 会 社		社名		TEL				
	消防太郎				〇〇〇飯店		〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇				
			住所						〇〇市〇〇町〇〇〇-〇〇		
点 検 項 目			点 検 結 果						措 置 内 容		
			消 火 器 の 種 別								
			A	B	C	D	E	F	判 定	不 良 内 容	
			A : 粉末消火器 C : 強化液消火器								
			機 器 点 検								
設 置 状 況	設 置 場 所	1		〇					1	通行障害	位置変更
	設 置 間 隔	1							1	歩行距離オーバー	位置変更
	適 応 性	〇		〇					〇		
	耐 震 措 置										
表 示 ・ 標 識		〇		〇					〇		
消 火 器 の 外 形	本 体 容 器	〇		〇					〇		
	安 全 栓 の 封	〇		〇					〇		
	安 全 栓	〇		〇					〇		
	使用済みの表示装置	〇		〇					〇		
	押し金具・レバー等	〇		〇					〇		
	キ ャ ッ プ	〇		〇					〇		
	ホ ー ス	〇		〇					〇		
	ノズル・ホーン・ノズル栓	〇		〇					〇		
指 示 圧 力 計	〇		〇					〇			
圧 力 調 整 器											
安 全 弁											
保 持 装 置											
車 輪 (車 載 式)											
ガ ス 導 入 管 (車 載 式)											

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、Fは水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

消火器の内部等・機能	本・体内容筒器等	本体容器																		
		内筒等																		
	消薬火剤	液面表示																		
		性状																		
	機能	消火薬剤量																		
		加圧用ガス容器																		
		カッター・押し金具																		
		ホース																		
		開閉式ノズル・切替式ノズル																		
		指示圧力計																		
		使用済みの表示装置																		
		圧力調整器																		
		安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)																		
		粉上り防止用封板																		
		パッキン																		
サイホン管・ガス導入管																				
ろ過網																				
放射能力																				
消火器の耐圧性能																				
簡火用 易消具	外形	/	/	/	/	/	/	/												
	水量等	/	/	/	/	/	/	/												
備考	設置位置を変更した。 不良内容の詳細等を記載																			
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名												
器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数															
粉末(蓄圧式)	1	1	1	0	0															
強化液(蓄圧式)	1	1	0	0	1															
		点検を行った消火器の本数を記入する。						買い替えを行った場合は、廃棄数を計上する。備考に詳細を記載												

備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。

2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。A は粉末消火器、B は泡消火器、C は強化液消火器、D は二酸化炭素消火器、E はハロゲン化物消火器、F は水消火器をいう。

3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。

4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。

5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。